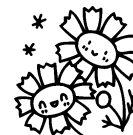




平成30年度 9月の園だより



みみよう保育園

【生活習慣の自立に向けて】

朝夕は多少涼しく感じられるようになってまいりましたが、まだまだ残暑が厳しい日々が続いています。8月後半でプールあそびはおしまいになりましたが、しばらくは絵の具や氷、泡などを用意して、子どもたちの大好きな水あそびや感触あそびが楽しんでいきます。

先日、2歳児きりん組さんが氷で遊んでいた時のこと、青い色水の氷を手を持って、「つめたいね」「きもちいい」などと感触を楽しみながら、だんだん溶けて流れていく様子を見ては、「あおのみずになったね」とつぶやいたり、握っていた氷が小さくなっていくと、「こおりのあかちゃんになったよ」と、子どもたちは、あそびの中でいろいろなことを感じたり気づいたりしていました。このように乳児期に、様々な素材や自然物に触れ、身体を通して感覚や不思議さを味わい、「何かな？」と興味関心を持つことが、先月も書きましたが、広島県教育委員会が提唱する子どもの発達に必要な5つの力（「感じる・気付く力」「うごく力」「考える力」「やりぬく力」「人とかかわる力」）につながってゆくものと思われまます。

それと同時に、生活習慣を身につけて整えていくことも子どもの成長には大切で、生活習慣が身につかないと、“わがまま”になったり、“集中力”が身につきません。これは、すぐに身につくものでも、大きくなったらいつの間にかできるようになるものではなく、0歳から段階をおって大人の丁寧な関わりの中で身につけていきます。

赤ちゃんの時から大人にしっかり語りかけられたり相手をしてもらい、丸ごと受けとめられる中で、特に1歳半頃から始まる「何でも自分で」という自我の芽生えの時期を丁寧に関わっていくことが大切です。まさに乳児期である今が大事なのです。時間がかかったり、上手くいかなくて癇癪^{かんしゃく}を起してしまうこともあるでしょうが、そこで大人がやってしまうとやる気の芽をつんでしまうことになりえません。見守ったりそっと手を添えて手伝ってあげたりしながら、子どもの最後までやろうとする姿を待つこと、そしてできた時はしっかり褒めてあげることが必要です。この自分でできたという達成感の積み重ねが自信となり、自立につながっていくのです。余裕をもって根気よく子どもにつきあいながら、関わっていききたいものです。

今きりん組さんではトイレに行ったり、お昼寝前にパジャマに着替えたりしています。はりきってトイレに行くときもあれば、その気にならない時もあったり、着替えにしても「じぶんで」という時もあったり、「やって〜」と甘えてくることもあります。個人差はありますが、その時々の子どもの気持ちや心の揺らぎに付き合いながら、子どもがその気になってやろうとする気持ちを大切に関わっていきたいと思っています。また、生活習慣の自立については、ご家庭だけ園だけでは上手く身につけていくことができませんので、双方で連携をとってお子さんの様子について情報交換をしながらすすめていきましょう。

園長

保育参観・講演会

日時： 9月 8日(土)

保育参観…… 9:30 ~10:30

参観は親子で楽しめるあそびを計画しています。また、日頃の園生活の様子をお知らせしたり、家庭での様子なども伺う機会としたいと思います。

講演会…… 10:45 ~12:15

講師…… 坂本牧子氏

(子育てサークル応援グループ MaMa ぼっけ代表)

内容……『子育てママ・パパの防災教室』

場所……第2みみよう保育園
5階ホール



お年寄りを大切に

敬老の日は昭和41年から国民の祝日（9月15日）に加えられ、平成15年に9月の第3月曜日になった比較的新しい祝日です。「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日とも言えます。

当園では地域の老人会の方々をお招きして27日（木）に敬老会を催し、一緒に交通安全キャンペーンに参加するなどして、年長組と触れ合います。

この機会を通して、お年寄りを敬う気持ち、思いやりの心が育つ機会にしたいと思います。



いざという時に備えて住宅用火災警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日
9日 救急の日

広島市南消防署



子育て応援メッセージ

「それぼくの
「ううん ぼくのだよ」



泣いたり、怒ったり
友だちとぶつかることで
思いやり、いたわりの気持ちが芽生えます。
人とのふれあいが人を育てます。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

秋分の日



今月は、お月様がきれいに見える月です。お子様と一緒に月様の満ち欠けを眺め、虫の音を聞くなど、初秋を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

また、今月の23日は秋分の日です。彼岸の中日とも呼ばれ、祖先を敬い、亡き人を偲ぶ日でもあります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。

